

日本よりの草の根の文化



長いコロナの時を経て、中国語講師の時先生のご両親が留学中の愛娘に会うため名古屋にいられた。各人の自己紹介のあと、躍進さんは日本の印象を「地下鉄に乗ったが、ゴミが落ちてなく、客も行儀よく並んですばらしい。まだ寒いのに子どももの半ズボンとかはどうか？」と先生らしい質問。私たちが「子どもは風の子だし、ファッションもありますね」と答えた。

会食が終わり写真のようになり躍進さんの趣味、を撮って書道家として一流



の産地として名高い。みんなが頂いた地元の名物のお菓子「墨子酥(蘇)」も、書道墨のように黒い色と形をした「ごまクッキー」だった。下の写真は国宝大同城でのスナップ。犬山では、犬山祭の山車を見たり、稲荷神社の赤鳥居、絵馬、おみくじを体験。「桃太郎公園」で食べた豆腐の菜飯田楽を母の風雲さんは「昨日食べた饅頭よりこっちの方が美味いわ」と。

「博物館明治村」では日本の和様建築や茶室、明治期の尋常小学校や県庁の建築群を見て、帰路、拙宅でお抹茶で一服していただきました。

木俣 博

母の歩いた道 ⑭

北村彰夫 (揖斐郡池田町)

1945年8月15日以降、母のいた太古開拓団は、現地にとどまり越冬することになりました。

太古開拓団は、現地の人々と比較的に仲良く暮らしていましたが、中国人からの大きな襲撃を受けることはありませんでした。進駐してきたソ連兵の中にも母も家に踏み込まれたことがありません。

最終話・家族

めぐりめぐって帰っていったんだ。太古開拓団は、集団自決で生き残った人たちが遠くハルビンを目指して彷徨う開拓団を受け入れ、約960人の開拓団員は1500人に膨れ上がった。

母は、ダブ、ダブ、「女を出せ」といいながら、ドカドカって家の中に入ってきたんだ。こんな大きな網上げの革靴が目前に現れて、見上げたらうーんと高い所に見える鼻の孔が見えた。そいつらが妹の布団をめぐらさず、チコ(妹)は病気がつたから血を吐いて、それでソ連兵もあきらめ、年にも生きたばかりの赤ん坊に食物を

の対聯を一人ひとりと愛知県連に頂いた。前号で時先生の「彦卿」という名は「顔真卿」にちなんで父君が付けられたと紹介したが、安徽省は、文房四宝(筆硯紙墨)

の産地として名高い。みんなが頂いた地元の名物のお菓子「墨子酥(蘇)」も、書道墨のように黒い色と形をした「ごまクッキー」だった。下の写真は国宝大同城でのスナップ。犬山では、犬山祭の山車を見たり、稲荷神社の赤鳥居、絵馬、おみくじを体験。「桃太郎公園」で食べた豆腐の菜飯田楽を母の風雲さんは「昨日食べた饅頭よりこっちの方が美味いわ」と。

木俣 博

中国ものしりコーナー 4.4. 中国の武術の起源

中国武術とは、中国を起源とする武術全てを指します。「カンフー」「中国拳法」と呼ばれることもあります。



その起源は数千年前に遼河と言われ、また達磨大師から渡来僧によりインドから伝来したという説もあります。その後14世紀から20世紀にかけて目覚ましい発展を遂げ、数多くの流派が生まれました。現在、その種類は200〜300種類と

主に北派と南派も二つのグループに分れることができます。一般に長江から北の地域が起源の武術を「北派」、南起源の武術を「南派」と呼びます。

北派に属するのは、查拳、八極拳、太極拳、螳螂拳、形意拳、通背拳、少林拳などで、動作が伸びやかで蹴り技、跳躍技が多いのが特徴です。

南派は日本の空手の源流とも言われ、虎拳、白鶴拳、洪家拳、蔡李佛拳、詠春拳などがあります。香港出身の、ブルース・リーやジャッキー・チェンが鍛錬していたのはこれらの南派武術。



◆北村さんには長期間にわたる連載感謝です。◆みなさま新しい連載が楽しみです。◆ご提案ありがとうございました。

長い間、お読みいただきありがとうございます。

長野県下伊那郡大鹿村大河原下青木：青木川のほとりに建立された古い薬師堂の側面に、明治時代の終わりごろ、薬師堂を改修した時の寄進者の名前が記されています。長年の風雪で墨の字がずいぶん薄くなっていますが、やつと、ある名前を見つけれ

えられずに亡くしてしまいました。現地で生まれた弟も中国人に預けることになりました。わずか10歳だった母がいろいろにたずさわっていました。

洋子はね、洋子は、私が殺したようなもの。文明もね、文明も私がこの手で預けてきたの。ごめんね、ごめんね……

その後も苦労を重ね、母と兄が帰国したのが昭和21年。母の母、ますと弟、妹は昭和28年になつて舞鶴に引き揚げました。父はシベリア